

2期平均は廃止されました。審査基準日時点の技術者について記載します。

20005

技術職員名簿

頁 項番 数 6 1 0 0 1 頁

通番	氏名	生年月日	業種コード	種別	有区	資格	格分	講習受講	業種コード	種別	有区	資格	格分	講習受講	監理技術者資格者証の交付番号		
															3	5	10
1	○× 太郎	昭和22年1月1日	6	2	0	1	1	3	2	0	5	1	1	3	2		
2	○× 花子	昭和30年2月2日	6	2	1	1	1	8	1	2							
3	山形 一郎	昭和33年9月2日	6	2	1	1	2	8	1	2							
4	天童 二郎	昭和40年7月9日	6	2	0	1	1	4	1	2	1	3	1	4	1	2	
5	新庄 三郎	昭和44年3月9日	6	2	0	5	2	7	3	2							
6	米沢 四郎	昭和52年7月7日	6	2	0	1	1	1	1	2	1	3	1	1	3	2	
7	鶴岡 五郎	昭和38年8月9日	6	2	0	1	0	0	2	2	1	3	0	6	4	2	
8	酒田 六郎	昭和57年8月8日	6	2	0	1	1	1	3	1	0	5	1	1	3	1	12345678
9			6	2													
10	<p>「講習受講」欄は、全員分、必ず「1」か「2」を記入します。空欄にするとエラーになってしまうので注意してください。</p> <p>下記の①から③の要件を全て満たす場合に「1」を記入します。</p> <p>① 1級国家資格者(法第15条第2号イに該当する) ※ 実務経験、大臣認定は除きます。</p> <p>② 監理技術者資格者証の交付を受けている</p> <p>③ 監理技術者講習(法第26条の4～6)を当期事業年度開始の日の直前5年以内に受講している</p> <p>※ 直前5年の考え方</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>有効期限 H25.10.1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>受講日 H29.8.15</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>審査基準日 H30.9.30</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>申請日 H31.4.1</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">← 直前5年 当期事業年度 →</p>																
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	

監理技術者資格者証の交付番号を記載します。

技術者1人につき2業種まで申請できます。この時、1資格から2業種選択することもできます。

例: 1級土木施工管理技士(113) 土・石・鋼・舗・し・塗・水から選択可能 ○×太郎は「土」と「と」を選択しました。

別々の種類の資格から1業種ずつ選択してもかまいません。

基幹技能者のコードは「064」です。